

六田知弘写真展

時のアイコン 2021

ICONS OF TIME 2021

Tomohiro Muda Photography Exhibition

3.11 THU > 3.26 FRI



√K Contemporary

六田知弘写真展「時のアイコン 2021」

ICONS OF TIME 2021

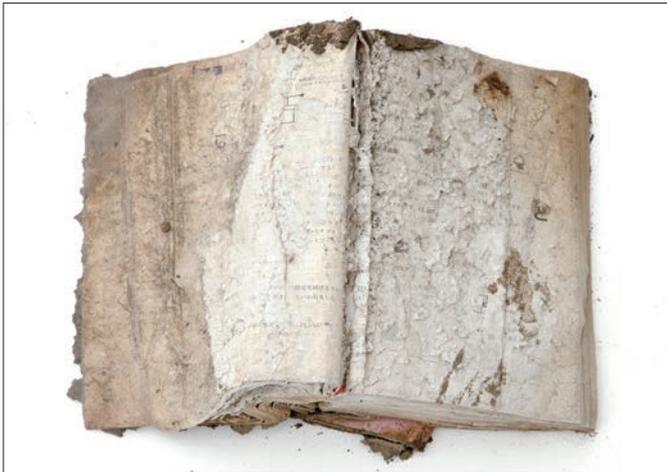
東日本大震災から満10年となる3月11日からは、写真家 六田知弘が震災後、津波に流され地面に残されたものたちや福島第一原発周辺地域で撮った「時のアイコン 2021」展を開催いたします。

これらの作品群は、これまで国内外の美術館等で展覧され、また写真集『時のアイコン 東日本大震災の記憶』(2013年 平凡社 刊)として出版されて沢山のひと々に衝撃と感動を与えてきました。

記録されたものたちには時間とともに新たな「生」が息吹き、それらはある種の美しさをも伴って輝きを放ちます。

多くの方に、ご高覧いただくことを願っております。

主催者



被災地で見つけたモノを、持参した白い紙の上に置いて撮った。「モノの記憶」をカメラで記録した。

モノには時間が堆積している。

被災する前にそれらを生活の中で使っていた人たちの時間、3.11の津波の瞬間の時間、

そして3.11以降、撮影されるまでの時間が堆積している。

写されたモノたち自身が語る声に耳を傾けてほしい。白紙の上に載せて撮ったのは、より鮮明にモノたちの声を聞くためである。

その声を記録し、伝えることが、写真家としての私の仕事だと考えた。

私は鎮魂と祈りの気持ちを込めて、それらモノたちの写真を「時のアイコン」と名付けた。

六田知弘

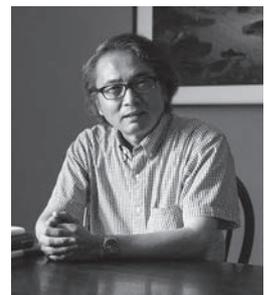
六田知弘(むだともひろ)

1956年 奈良県御所市に生まれる。1980年 早稲田大学教育学部卒業。1982年よりネパールヒマラヤ山中のシェルパの村に暮らして撮影。1988年 最初の個展「ひかりの素足—シェルパ」を開催。

以降、「自然や宇宙との根源的なつながり」を遠くに探りながら、モノ、人物、風景、建築、道、石など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。

また、「祈り」と「時」をキーワードに、仏像などの日本美術のほかヨーロッパのロマネスク美術、雲岡石窟やポロブドゥール等アジア各地の仏教遺跡など、文化財、古美術品の撮影も多い。

国内外での写真展、写真集多数。 www.muda-photo.com



六田知弘写真展 時のアイコン 2021

会期 > 2021年 3月11日(木)~26日(金)
11:00~19:00 Closed on Mondays.

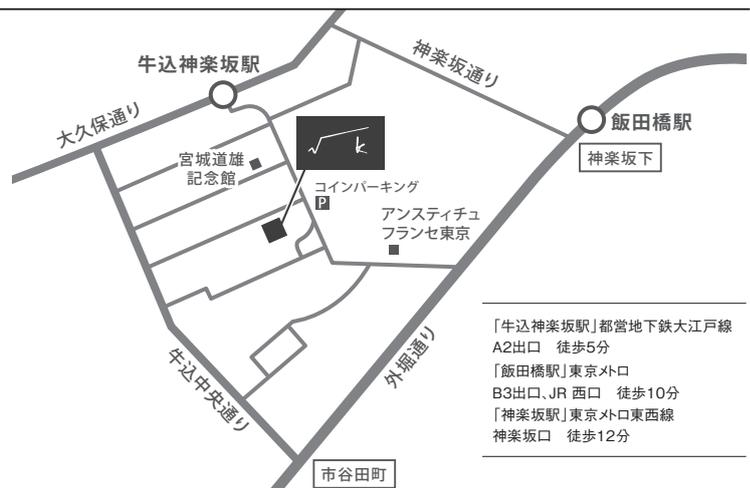
会場 > √K Contemporary 入場料 > 800円

※収益の一部は東日本大震災復興支援に寄付させていただきます。

〒162-0836 東京都新宿区南町6

Tel 03-6280-8808 / Fax 03-6280-8809 / URL: <https://root-k.jp/>

主催: 一般社団法人 日本美術継承協会 / 協力: SEI-RIN、√K Contemporary



「牛込神楽坂駅」都営地下鉄大江戸線
A2出口 徒歩5分
「飯田橋駅」東京メトロ
B3出口、JR 西口 徒歩10分
「神楽坂駅」東京メトロ東西線
神楽坂口 徒歩12分